

私は歯科衛生士の学校に入って、衛生士になったら、予防歯科の本場であるスウェーデンに訪れ勉強をしたいとずっと思いながら働いていました。どのようにしたら行けるのか、自分はどんな道に進んでいきたいのか、模索しながらの毎日でした。一度、研修でフィンランドに行き、大学、歯科医院、老人ホームなどを回り、その時点でさえ健康意識の高さを感じました。4年前熊谷先生にお会いして、私が求めている歯科治療だと感じ、今回スウェーデンに行く機会をいただきました。

今回は100人の参加、参加されるみなさんの熱い思いは成田空港から伝わっていました。

ダン・エリクソン先生をはじめ多くの先生がたは、すごくわかりやすく説明をしてくださいました。

一番心に残っている言葉は

システムではなくフィロソフィーが重要だということ。

私はまず、真似事から入って行きました。あれがないから、これがないからうまくいかないと嘆いていた時期もありました、しかし先生がたは論文を読み、なにが正しいのか、やってみる、それでもうまくいかないなら他の論文を読みなさい。とのことでした。

今回たくさんの論文を紹介してもらいました。

衛生士も数多くの論文を読んで、勉強していかなければならないと強く思い、まずは一つ疑問に思っていることを探してみようと考えています。

スウェーデンの R2 や個々の役割、リスクアセスメントなど本当にいい仕組みが多くて、羨ましくも感じました。

最後に宮本先生のウォールマートのお話が印象的でした。

今回学んだことを医院に持ち帰って共有していき、もう一度思い返して自分なりにまとめていきたいと考えています。

また機会があったら、マルメ大学にいきたいです。また違った目線からみることができると思います。